

OpenAM Apache 2.2 Policy Agent パッケージ

インストールガイド



オープンソース・ソリューション・テクノロジー(株)

作成日: 2013 年 2 月 12 日

更新日: 2014 年 10 月 9 日

リビジョン: 1.4

目次

1. はじめに	1
1.1 本文書の目的.....	1
1.2 前提条件.....	1
1.3 略語.....	1
2. Linux 版パッケージ	3
2.1 システム要件.....	3
2.1.1 ソフトウェア要件.....	3
2.2 パッケージ構成.....	3
2.3 Linux 版パッケージのインストール.....	4
2.3.1 準備.....	4
2.3.2 依存パッケージのアップデート.....	4
2.3.3 パッケージの確認.....	4
2.3.4 パッケージのインストール.....	5
2.4 Linux 版パッケージのアップデート.....	5
2.4.1 準備.....	5
2.4.2 依存パッケージのアップデート.....	5
2.4.3 パッケージの確認.....	5
2.4.4 パッケージのアップデート.....	6
3. 改版履歴	7

1. はじめに

1.1 本文書の目的

本文書は OpenAM Apache 2.2 Policy Agent (以降、Apache 2.2 Policy Agent と表記) パッケージを導入するための手順書です。

Apache 2.2 Policy Agent パッケージのインストールの際に、必ず本文書の内容を確認してから、作業を実施してください。

本文書に関する記載内容について、疑問点等がある場合には、弊社サポート窓口までお問い合わせください。

1.2 前提条件

本文書は、特に指示がない限り、以下のような条件を前提に記述しています。これと異なる場合は、適宜内容を読み替えるか、必要な作業を別途実施してください。

- 作業者が OS と関連ソフトウェアの管理や操作手順についての一般的な知識を有すること。
- OS と関連ソフトウェアの基本設定が適切になされていること。
- OS のセキュア OS 機能 (SELinux 等) やファイアウォール機能を無効にすること。
 - ファイアウォールを有効化した状態で Apache 2.2 Policy Agent を運用することも可能です。手順の簡略化のために、本書ではファイアウォールが無効化されていることを前提とします。
- 管理ユーザー root のシェル端末で作業すること。(作業ユーザーを指定している場合を除く)
- OSSTech 製品パッケージファイル群をインストール対象 OS 環境の /srv/osstech-work/software/RPMS ディレクトリ以下にコピーしておくこと。

1.3 略語

本文書では必要に応じて以下のような略語を用います。

- 「Red Hat Enterprise Linux」を「RHEL」と表記します。



- 「オープンソース・ソリューション・テクノロジー」を「OSSTech」と表記します。

2. Linux 版パッケージ

2.1 システム要件

|| 2.1.1 ソフトウェア要件

以下のいずれかの OS 環境が必要です。

- Red Hat Enterprise Linux 6 (x86/x86_64)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (x86/x86_64)
- CentOS 6(x86/x86_64)
- CentOS 5(x86/x86_64)

また、以下のソフトウェアが必要です。

- Apache HTTP Server 2.1 以降
- JDK 6 以降
- Network Security Service (NSS) 3.12.9 以降

2.2 パッケージ構成

弊社が提供する Linux 版ソフトウェアは以下のパッケージにより構成されています。

- OSSTech ソフトウェア製品基本パッケージ
 - osstech-base
 - osstech-support
- Apache2.2 Policy Agent パッケージ
 - osstech-openam-agent-apache22

2.3 Linux 版パッケージのインストール

各パッケージのインストールは、OS 付属の rpm コマンドを用いて行います。以下の手順にしたがってパッケージのインストールを実施してください。

2.3.1 準備

パッケージのインストールは、root ユーザーのみに許可されていますので、最初に su コマンドで root ユーザーになります。

```
$ su -  
Password: root のパスワードを入力（画面には表示されません）
```

次に弊社から提供されたパッケージ一式をインストール先ホストの任意のディレクトリに展開します。

下記の例では/srv/osstech-work/software/RPMS に展開したことを前提として記述します。

2.3.2 依存パッケージのアップデート

Network Security Service（NSS）

Apache2.2 Policy Agent では NSS 3.12.9 以降が必要です。NSS 3.12.9 以前の場合はアップデートを行ってください。

```
# rpm -qa | grep nss-3  
nss-3.12.10-17.el6_2.x86_64
```

JDK

Apache 2.2 Policy Agent パッケージに含まれるインストールコマンドを実行する際に JDK（JDK6 以降）が必要です。事前に、環境に応じた JDK パッケージをインストールしてください。

2.3.3 パッケージの確認

パッケージ展開先のディレクトリに弊社提供のパッケージ一式があることを確認します。

```
# cd /srv/osstech-work/software/RPMS  
# ls base  
osstech-base-3.0-XX.el6.noarch.rpm  
osstech-support-3.0-XX.el6.noarch.rpm  
# ls agent  
osstech-openam-agent-apache22-3.X.X-X.el6.x86_64.rpm
```

2.3.4 パッケージのインストール

rpm コマンドを使用して、RPM パッケージをインストールします。

```
# rpm -ivh base/*.rpm  
# rpm -ivh agent/*.rpm
```

以上でパッケージのインストールは完了です。

2.4 Linux 版パッケージのアップデート

弊社提供のパッケージをアップデートする際は、以下の手順にしたがって実施してください。

2.4.1 準備

パッケージのインストールは、root ユーザーのみに許可されていますので、最初に su コマンドで root ユーザーになります。

```
$ su -  
Password: root のパスワードを入力（画面には表示されません）
```

次に弊社から提供されたパッケージ一式をインストール先ホストの任意のディレクトリに展開します。

下記の例では/srv/osstech-work/software/RPMS に展開したことを前提として記述します。

2.4.2 依存パッケージのアップデート

Network Security Service（NSS）

Apache2.2 Policy Agent ではNSS 3.12.9 以降が必要です。NSS 3.12.9 以前の場合はアップデートを行ってください。

```
# rpm -qa | grep nss-3  
nss-3.12.10-17.el6_2.x86_64
```

2.4.3 パッケージの確認

パッケージ展開先のディレクトリに弊社提供のパッケージ一式があることを確認します。

```
# cd /srv/osstech-work/software/RPMS  
# ls base  
osstech-base-3.0-XX.el6.noarch.rpm
```

```
osstech-support-3.0-XX.el6.noarch.rpm
# ls agent
osstech-openam-agent-apache22-3.X.X-X.el6.x86_64.rpm
```

2.4.4 パッケージのアップデート

最初に base ディレクトリに含まれるパッケージのアップデートを rpm コマンドで行います。

```
# rpm -Uvh base/*.rpm
```

既に最新のパッケージがインストール済みの場合、次のエラーが表示されます。この場合はインストール済みのパッケージをアップデートする必要はありませんので、アップデート不要なパッケージを、ディレクトリから除いておき、再度、アップデートを試みます。

```
# rpm -Uvh base/*.rpm
準備中... ##### [100%]
    パッケージ osstech-base-3.0-81.el6 は既にインストールされています。
    パッケージ osstech-support-3.0-81.el6 は既にインストールされています。
```

上記の例の場合、osstech-base パッケージと osstech-support パッケージのアップデートが不要なことを表しています。

つづいて Apache2.2 Policy Agent パッケージをアップデートします。

```
# rpm -Uvh agent/*.rpm
```

以上でパッケージのアップデートは完了です。

3. 改版履歴

- 2013 年 2 月 12 日 リビジョン 1.0
 - 初版作成
- 2013 年 2 月 22 日 リビジョン 1.1
 - アップデート手順を追加
- 2013 年 7 月 3 日 リビジョン 1.2
 - バージョン番号などを汎用化
- 2014 年 9 月 26 日 リビジョン 1.3
 - Linux 環境において依存パッケージをチェックする際のコマンドを修正
- 2014 年 10 月 9 日 リビジョン 1.4
 - 提供していない Solaris 版パッケージの記載を削除
 - JDK に関する記載を修正